

瀬部小だより 12月号

平成19年11月29日



1 学習発表会(11月18日)多くのご参観ありがとうございました

当日は寒い中、たくさんの方々においでいただきまして、心より御礼申し上げます。

さて、本校の総合的学習発表会について、再度確認させていただきたいと思います。当日の発表会は、1学期や2学期前半までの総合的な学習の時間で学んだことの途中経過発表でした。1・2年生は生活科を中心とした発表でした。3年生から6年生までは、総合的な学習で学んだことの発表です。

参観される皆様の中には、毎年同じことの発表ではないかという感想もあります。しかし、1・2年は生活科、3年の総合は地域の祭りや伝統文化の伝承、4年は環境学習、5年は福祉、6年は国際理解と学習分野を決めています。子どもたちにとっては学年があがるごとに、体験すること学ぶことが全部初めてのことであり、新鮮な内容です。子どもたちの発達段階を本校なりにカリキュラムを立てて取り組んでいます。子どもたちは、真剣に取り組んでいます。

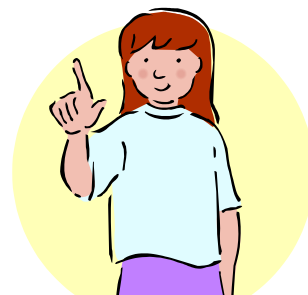


学校教育を始め生涯にわたって身につけなければならないことは、自ら学ぶ意欲(自主的な学び)であり、その学びを確実にするために、ともに学びあう(協同的な学び)ことです。そして、その学びを、日常生活の中で使い生かしていく(継続的な学び)ことです。この3つの学びが、子どもたちの力で進められるのが総合的な学習の時間であると思います。本校では、その学習の成果を発表する場を総合的な学習発表会と位置づけています。

子どもたちが「自ら学び」「協同して学び」合おうとしています。子どもたち自身で試行錯誤しながら、学び方を身につけようとしています。学芸会のように派手さはありませんが、子どもたちが日常の学習の中で学んだことを子どもたちの持てる力で、発表し伝える場です。学びの過程にお



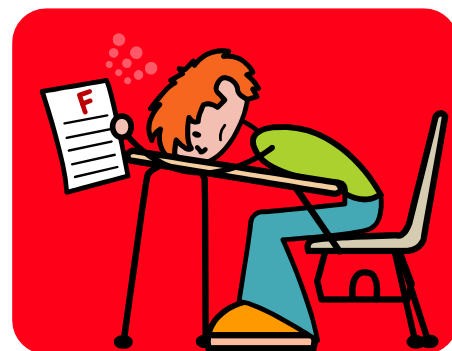
いては、誰もが学習の主役であり、平等に発表の場があるのは、学芸会よりも充実していると確信しています。学習発表会で学んだ学びの力が、日々の学習活動の中で確実に転移できる可能性が高いと思います。ある意味では大変地味な内容かもしれませんが、本校では重視している学習です。



2 ほめて励ます 冬休み

12月は、忙しい時期です。子どもたちにとっても、2学期の学習の最終コーナーです。

学校は学習するところです。最も大切なことは、教科の勉強です。そして、集団で学ぶ以上、集団生活での生活と学習のルールに慣れなければなりません。自分のわがままを抑えて、学校や学級でのルールを大切にしなければなりません。これは、最も大切な学習であるのかもしれませんが。



また、小学校の学習では、将来に向けて生きていくための基礎基本を身につけるものがほとんどです。2年生の九九を覚えるのは、子どもたちにとって最初の関門のようです。繰り返し覚えることは根気の要ることですし、面倒なことです。しかし、その昔、私たちもその面倒なことに励んだ結果(?)現在があります。もし、面倒だからとその場でやめていたら…。漢字も、計算も覚えるのは面倒であるといえば面倒です。うまくいかないと投げ出したくなるのも事実です。

保護者から「よくやったね。」担任から「合格!」といわれたときのうれしさは言葉では言い表すことができません。否定することは簡単です。「何でできないの!」といわれてやる気になる子はいません。「前よりも少しできるようになったね。」「ずいぶんよくなったね。」と認め励ますことによって、学習意欲は増すもののようです。どうかほめて励まし、子どもの可能性を信じてやりたいと思います。よろしくお願いします。

3 第5回 J-KIDS ホームページ大賞で「文部科学大臣賞」を受賞

瀬部小のホームページへの応援ありがとうございました。本校は、J-KIDS ホームページ大賞で、平成17年度県代表・応援団賞、平成18年度県代表・ベストエイト賞・経済産業大臣賞、平成19年度県代表・ベストエイト賞・文部科学大臣賞になりました。3年連続の快挙だと言われています。瀬部小学校のパソコン委員会のメンバーの努力を始め、ホームページの担当者、そして、全職員の努力とPTAを始めとする保護者の皆さんや地域の方々のお陰だと思っております。本校の進めている教育の一端が、ネットを通じて、家庭にそして、地域に理解され協力されてこそ、ホームページの意義はあると思っております。



今後ともに、全力を上げて子どもたちの教育向上に努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。